

●本校の実態を踏まえた学力等に関わる成果と課題

成果	課題
単元の初めに鑑賞の時間をとり、作品を言葉に表す活動やグループごとに題材を数多く考える活動を行い、発想のきっかけをつくり構想を広げられるようにした。	積極的に取り組む生徒が多いが、説明されたことから発想し構想を練ることでせず、安易に作品を仕上げたり、未完成のまま提出する生徒もいる。一方で熱心に取り組む生徒の中には時間が足りず作業のペースにばらつきがある。

●学年ごとの課題及び改善策等

学年	生徒の実態及び指導上の課題	具体的な授業改善策
1年生	授業に積極的に取り組む生徒が多く作品にこだわりをもつ生徒もいる一方で、アイデアに自信が持てず制作に遅れのでる生徒やうまくできないことを気にして手が止まる生徒もいる。	個別指導の機会を増やすと共に生徒が授業・課題等の手順や注意点をいつでも確認できるようプリントやクロッキーブックを活用する。また、単元の初めにスケッチなどをおこなう活動で技術的な力を養う。
2年生	制作に積極的に取り組んでいる生徒が多い。一方で発想や構想を練ることをせず、安易な方法や簡単な方向を探す生徒もいる。	制作の手順、注意点等を明確にし課題に見通しを持たせると共に授業ごとの課題を設定し、時間ごとにやること意識させることで作品や課題について考える態度をつちかい、計画的に作業を進められるようにする。
3年生	美術の授業に主体的に取り組む生徒が多い。早く次の段階に進みたがり構想が深まらない生徒や自分のできる範囲の作業で作品を完成させようとする生徒もいる。	抽象表現や古典技法などを具体的に体験する機会をつくり発想やアイデアを広げやすくすると共に、生徒自身が自らの新たな発見ができるよう鑑賞をおこなう。

●学校全体で取り組む内容

学習発表会、生徒作品展などでの作品展示及び鑑賞活動による、他学年、他学級の生徒との作品をとおした交流。